

1 はじめに

本校は小規模校の特長を生かし、異学年による縦の繋がりを大切にした縦割り班活動に積極的に取り組んでいる。また、高学年による委員会活動では、計画・運動委員会を中心に学校行事の運営を行っている。

2 資料

(1) 1年生を迎える会（令和4年4月20日）

1年生の入学を全校でお祝いし、学校生活の楽しさを知ってもらう会である。6年生と1年生が一緒に入場し、6年生から歓迎の言葉、4年生からメダルのプレゼント、1年生の自己紹介を行った。その後、年度初めての縦割り班活動を行った。



今年度は、感染症対策を行った上で、体育館で実施した。場所や入場の仕方、活動内容などについて何度も話し合ったり、リハーサルしたりしながら具体的なイメージをもてるようにした。6年生を中心として児童が主体的に取り組むことができた。

(2) 「あいさつ運動」（年26回実施：計画運動委員会2回、縦割り班24回）

児童が自分から進んであいさつができるようになるために、あいさつ運動を企画し、実施した。他学年同士あいさつをしたり、されたりすることで、互いに顔を覚え、元気にあいさつする様子が見られた。また、今年度は、縦割り班での活動とすることで、学年の壁を越えてあいさつが広がる仕組みとした。さらに、班長が、あいさつの良かった学年を放送で発表することで、学校全体のあいさつへの意識を高めることができた。



(3) その他の活動

ア 縦割り班遠足（かみね動物園）



イ 運動会（縦割り班リレー）



3 成果と課題

- ・計画・運動委員会の児童は、学校全体に関わる行事の企画・運営などを行うことで、活動への意欲が高まるとともに責任感が育った。感染症対策を行った上で、どのようにしたら縦割り班での活動が活発にできるかを主体的に話し合うことができた。
- ・活動時間の確保において、常設されている委員会活動の時間のみでは足りないことがあり、休み時間を使うことが多かった。計画を見直ししながら、改善できるようにしたい。
- ・児童たちがさらに、自主的に考え、活動していけるような手立てと支援を考えていきたい。